

気仙沼市令和5年度第2回震災の教訓等を伝承する職員研修が開催されました (2024/1/17)

テーマ：震災の教訓等を伝承する職員研修
会場：気仙沼市地域交流センター大ホール（ワンテンビル内）

2024年1月17日（水）、気仙沼市地域交流センターにおいて、令和5年度第2回気仙沼市職員研修が行われました。本研修は、東日本大震災以降に気仙沼市職員として採用された方を対象とし、気仙沼市が主催、当研究所、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が協力として開催したものです。

第2回目となった今回は、「震災の教訓等を伝承する職員研修」をテーマに、東日本大震災時の対応や教訓について、職員間で伝承する機会を設け、教訓等を活かした災害対応ができる人材を育成することを目的として開催されました。当研究所の佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）は研修プログラム設計の監修を担当しているほか、研修当日にアドバイザーとして参加し、講評を行いました。

当日は全体説明のあと、東日本大震災時の避難所運営に関する講話および、グループワーク、個人ワークを実施しました。はじめに、気仙沼市社会福祉課課長吉川礼氏による「東日本大震災における避難所運営」について、発災直後からそれ以降の避難所がどんな状況であったか、その際の課題と今後の対策の説明をしました。続いて、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社秋元康男氏による「全国の避難所における生活環境について」を実際の取り組み事例とともに説明しました。グループワークでは、4～5人のグループに分かれ「東日本大震災時の避難所運営の課題」について意見を出し合い、今後自分達はどのように行動すればその課題が改善されるかなどを話し合いました。また、個人ワークでは、講話とグループワークを踏まえ、自分が考える避難所運営のポイント、それを実践できるようにするために自分が取り組むこと等をまとめました。当日は、約30名が参加し、参加者間でそれぞれ活発な議論が行われました。



講演の様子①
吉川 礼氏



講演の様子②
秋元 康男氏



佐藤 翔輔准教授



グループワーク



グループワーク後の発表



会場全体